

水産物来週の見通し（11/28～12/3）

【鮮魚の概要】

高級はブリ、筋子が減少傾向にある。
近海は真だちが増加傾向になる。
大口はカレイが水揚げ増加、スルメイカは安定傾向。

【主要品目】

鮮マグロ ⇒北海道、戸井、吉岡の入荷予定あり。その他国産養殖本マグロ中心の入荷。価格は高値で安定。

ホタテ ⇒オホーツクの一部と道東中心の水揚げ。海外向けの引き合いが強く、また、しけも多いため、相当な高値予想。

ホッキ ⇒胆振や道東の入荷も増え、価格は下げ傾向。

ウニ ⇒北海道産の入荷あり。価格は高騰傾向。

貝ツブ ⇒厚岸は終了。岡つぶ、Aつぶ、根室・噴火湾ともに少量で、価格は高騰。

キンキ ⇒輸出サイズ、値段ともに下げ傾向。日高、襟裳の小キンキは横ばい。

ヒラメ ⇒北海道全域、水揚げ減少、価格は上げ傾向。

毛ガニ ⇒釧路産の水揚げあり、価格は横ばい予想。

カレイ ⇒マガレイは枝幸底引き中心で、水揚げ安定。価格も安定。
黒ガレイは道東、オホーツクでの水揚げ。水揚げは不安定で、価格は上げ傾向。

いか ⇒マイカは青森、北海道・函館、桧山、日高、泊、岩内、噴火湾、羅臼他水揚げで2000～4000ケースほど。価格は道内及び道外ともに上げ傾向。

アサリ ⇒厚岸、根室、野付での水揚げ。水量は安定しており、価格は上げ傾向。

エビ ⇒ぼたんえびは日本海、礼文島、噴火湾からの入荷。数量は安定。浜高傾向。
南蛮えびも水揚げ減少傾向、入荷は少なめ。